

平成28年度事業計画

<平成28年度の活動の3本柱>

- 1 区市町村教育委員会、学校（教員）との連携・協力をはかり、「地域教育」を活性化させる取組みを支援する。
- 2 地域資源の効果的な連携・導入を促すため、「地域学校協働本部」の具体化を見据え、地域教育支援人材を養成する。
- 3 企業CSR活動や大学・NPO等とのネットワークを積極的に進め、都立学校への教育支援プログラムの効果的な導入を図る。

1 教育支援コーディネーター・フォーラム

平成28年12月11日（日） 都庁大会議場にて開催を予定

2 課題別取組

平成28年度は、以下の5つの課題別部会を設置して、活動を活性化させていきます。

(1)教育支援コーディネーター部会（地域コーディネーター育成、コーディネーター・フォーラム企画）

ア コーディネーター基礎研修企画委員会

○教育支援コーディネーターの資質向上のためのコーディネーター基礎研修等の企画や実施を行う。

イ 教育支援コーディネーター・フォーラムの開催

○コーディネーター及び企業・NPO団体の交流の機会を提供する。

平成28年12月11日（日）実施を予定

(2)都立学校支援部会（都立高校における「キャリア教育」等教育支援）

ア 都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の実施

○企業や大学、NPO等会員団体の協力を得て都立高校生向け「社会的・職業的自立」支援教育プログラムを希望する都立高校に教育プログラムを導入する。

○高校生キャリア教育プログラム「ジョブシャドウ」、青少年を対象とした職業体験『Tokyo しごと倶楽部2016』等、会員団体と連携しプログラムを提供する。

イ 都立高校教員対象研修の実施

都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業の理解推進のために教育プログラムを教員が体験する機会として実施する。

(3)区市町村支援部会（学校教育支援、学校外教育支援）

ア 学校支援活動の活性化支援

○区市町村学校支援ボランティア推進協議会事業担当者及びその他学校支援事業担当職員等を対象として、事業への理解促進や活性化に向けた研修の機会を提供する。

○学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区のコーディネーター等を対象として、基礎研修を実施する。

イ 地域住民等による放課後学習支援の活性化支援

○「地域未来塾」等放課後学習支援に関する事業の実態を把握し、区市町村の事業関係者に対する情報提供等を通して、授業以外の場における学習支援の充実を図るための支援を行う。

ウ 学校外教育支援活動の活性化支援

- 放課後子供教室担当職員を対象に放課後子供教室等学校外教育活動について理解と促進を図る研修の機会を提供する。
 - 学校外教育活動の担い手となる地域教育支援人材の養成として、放課後子供教室活動の活性化や学校外教育活動の充実を図る研修を実施する。
- エ 土曜日の教育支援体制等構築事業実施地区のコーディネーターを対象として、基礎的な内容を中心とした研修を実施する。

(4) 地域教育支援人材部会（地域教育を支援する担い手とのネットワーク等）

ア 地域教育支援人材養成のあり方検討会

- 地域教育支援人材養成プログラム等の開発等の検討を行う。

イ PTA 活動の振興等に関する意見交換会

- 東京都レベルのPTA活動の振興等について、関係団体との意見交換を行い、関係者とのネットワークを広げる

(5) 地域・団体連携協働部会（外部団体活用による防災教育推進等）

ア 連携協働事例の検討

- 義務教育における連携協働事例検討委員会（5回）
- 現代的な課題（オリンピック教育等）を踏まえた学校教育支援施策研修の検討（2回）
- 外部団体と連携した防災教育の連携方策についての検討

イ 地域や会員団体と連携した取組

- (例) 会員団体からの企画提案に基づくプロジェクトの検討

3 東京都生涯学習ホームページを効果的に活用した情報提供・情報交流の推進

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」のウェブサイト（運営）を活用し、企業・大学・NPO等の会員が取り組む教育支援活動を、学校外の社会資源を効果的に活用するための教育支援プログラムとして学校関係者をはじめ、地域教育の関係者に紹介していきます。

また、メールを活用した会員間の情報交換を充実していきます。

4 都民や教育関係者への周知

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」や「地域教育プラットフォーム」「都民の教育参加」について、広く都民の方や教育関係者に知っていただくために、都民向け情報誌『とうきょうの地域教育』（年4回発行）や、説明資料による広報活動を充実していきます。